

# 重誓寺報

第36号 平成28年10月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺  
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号  
電話・FAX 06(6951)0090



今年の夏は暑かった・・・とかよく言いますが、去年がどうだったのかって、あまり覚えていないのが実際のところではないでしょうか。でも体温と同じくらい気温が普通になってきましたので、暑くなっているのは本当なんでしょうね。特に大阪の暑さは夜になっても下がりませんから、気温以上の体感であるように思います。

先日、あべのハルカスから市内の中心部を見えますと、当然のようにコンクリートの高層ビルが建ち並んでいます。これらほとんどが冷房し、その熱気を空气中に排出しているのですから、莫大なエネルギーを使って、益々都会を住みにくくしているのではと感じさせられました。また近々やってくると言われている大地震の際に受ける多大な被害を想像すると恐ろしいものがあります。



以前にもお知らせしましたが、重誓寺山門横の塀が崩れてきたため、現在改築工事が行われています。以前の物は中が木材で組まれ空洞であったのですが、今回は全て鉄筋コンクリート製の頑丈な物になります。どちらが良いのかは分かりませんが、何度も建て替えるものではありません。皆様をお迎えする正面が、末永く安心出来るものであればと思います。

## 法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

椅子席でお参りいただけます。

## 常例法座

十月二十日(木) 二時、七時

講師 宏林 晃信 師

## 親鸞聖人報恩講

十一月二十日(日) 二時、七時

二十一日(月) 二時、七時

講師 義本 弘導師

## 常例法座

十二月二十日(火) 二時、七時

講師 中西 昌弘 師

## 心に残った法話のお言葉

如来様より賜った信心を私たち皆が頂く。そこにはずっと仏の願いが流れており、覚りをひらき、浄土に生まれさせて頂くのです。  
(五月 高澤正文師)

眞実を曲げると必ずその反発が来る。人にとつてどうでも良い事はすぐに消えてしまいます。親鸞聖人の書物が未だに残っているのは、その中に眞理があるからなのです。  
(六月 平戸昭乗師)

法律の「法」は人が作るもので、時や場所によつて変わってきます。仏法の「法」は法則であり永遠に変わらず、世界中に通ずるものです。  
(七月 不死川浄師)

自分の労力で生まれて行く世界は一人一人違います。仏様が連れて下さる世界であるから、皆が同じ浄土に生まれさせて頂けるのです。  
(八月 寺本正尚師)

## 親鸞聖人 和讃の教え

びようどうしん  
平等心をうるるときを

いっしじ  
一子地となづけたり

ぶつしやう  
一子地は仏性なり

あんによう  
安養にいたりてさとるべし

じやうどわさん  
(浄土和讃)

本当に平等な心を得ることを一子地と名づけます。これは仏のさとり境地であり、私たちにとっては浄土に生まれてはじめて得られる境地です。

「十人十色」「みんな違ってみんないい」阿弥陀経には「青・黄・赤・白、それぞれの色はそれぞれに光り輝く」という言葉があります。私たちはこの世では同じ者は無く、それぞれに存在価値があります。

そのように違う私たちを、分け隔てなく、平等に救いの手を差し伸べて下さっているのが阿弥陀様の働きなのです。

オリンピックで盛り上がった夏が終わりました。一昔前まで「オリンピックは参加することに意義がある」と言われてきました。日本人は体格的に小さく、どう見ても外国人にはかなわないと言う固定観念があったように思います。

でも今はほとんどの方がメダルを目指して出場し、私たち見る側もそれを望んでいます。実際、今大会でも日本人の活躍は目覚ましいものがありました。そこにはもちろん個人や支援する方が努力してきた成果ではありませんが、日本人が大舞台で萎縮せず、実力を発揮出来る精神力が付いてきたのかも知れません。



もちろんスポーツ以外でも、結果が全てではありません。誰もがそれぞれの色に輝いているのです。そしてまた、それを皆で認め合うことが大切なことなのです。



近年、日本国内で「子どもの貧困」が深刻な問題になっていています。6人に1人が貧困状態にあるというデータもあります。また、ひとり親家庭が関連する悲しい事件も連日報道されています。

「もつと食べさせてあげたかった」というメモを残して、母子が餓死状態で発見された事件もありました。毎日の食事が給食の1食だけという子どもたちが沢山います。貧困問題は、育ち盛りの子どもたちの食事や教育、生活全般にわたって健全な成長に大きな影響を与えます。親御さまも、様々な事情が複雑に絡み合い、問題を抱えたまま周囲から孤立してしまうことが少なくありません。このような状況に対し、国や地域、民間団体が様々な取り組みを進めています。まだまだ十分な状況ではありません。



まからの「おさがり」として、全国のひとり親家庭を支援する団体との協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。重誓寺として、紹介して頂いた団体に対して支援する事になり、既に数回の「おすそわけ」を送らせていただきました。本来、皆様からはお寺へのお供え物として頂戴する物ではありませんが、このような状況の中で少しでも社会貢献出来るよう協力させて頂いておりますので、ご理解頂きますようお願いいたします。今後とも出来るだけ継続して支援を続けて行きたいと思っております。



盲導犬パピー  
5頭目のリースです。

重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail [info@juseiji.net](mailto:info@juseiji.net)

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。

ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。